

平成 28 年（2016 年）5 月 27 日
 第 72 回国民体育大会冬季大会長野県実行委員会事務局
 （教育委員会事務局 スポーツ課 内）
 （事務局次長）小野沢 弘夫
 （国体課長）秋和 政一
 電 話 026-235-7442（直通）
 026-232-0111（代表）内線 4473
 F A X 026-235-7457
 E-mail kokutai@pref.nagano.lg.jp

ながの銀嶺国体（第 72 回国民体育大会冬季大会）について

1 主催

（公財）日本体育協会、文部科学省、長野県、（公財）日本スケート連盟、（公財）日本アイスホッケー連盟、（公財）全日本スキー連盟、長野市、岡谷市、軽井沢町、白馬村

2 競技会場及び競技会会期

(1) スケート競技会・アイスホッケー競技会

競技等	会場地	競技会場等	平成 29 年 1 月				
			27 日	28 日	29 日	30 日	31 日
			金	土	日	月	火
開始式	長野市	長野市芸術館	○				
表彰式	長野市	長野市若里市民文化ホール					○
スケート	長野市	長野市オリンピック記念アリーナ（エムウェーブ）		○	○	○	○
		長野市若里多目的スポーツアリーナ（ビッグハット）	○	○	○	○	
						○	○
アイスホッケー	岡谷市	やまびこスケートの森アイスアリーナ	○	○	○	○	○
	軽井沢町	軽井沢風越公園アイスアリーナ	○	○	○	○	○

(2) スキー競技会

競技等	会場地	競技会場等	平成 29 年 2 月				
			14 日	15 日	16 日	17 日	
			火	水	木	金	
開始式	白馬村	ウイング 2 1	○				
表彰式		ウイング 2 1				○	
スキー		ジャイアントスラローム	白馬八方尾根スキー場		○	○	○
		スペシャルジャンプ	白馬ジャンプ競技場		○		
		コンパインド	白馬クロスカントリー競技場（スノーハープ）			○	
	クロスカントリー			○	○	○	

3 参加人員（正式競技）

- スケート競技会 約 1,050 人（選手監督 750 人、大会役員 300 人）
- アイスホッケー競技会 約 950 人（選手監督 650 人、大会役員 300 人）
- スキー競技会 約 2,450 人（選手監督 1,900 人、大会役員 550 人）

4 デモンストレーションスポーツ

競技	会場地	競技会場
カーリング	軽井沢町	軽井沢アイスパーク

5 大会開催基本方針

(1) 基本方針

第 72 回国民体育大会冬季大会（ながの銀嶺国体）は、冬季スポーツと長野県の魅力を全国に発信する大会として、県民一人ひとりのホスピタリティや競技施設 など長野オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を生かしながら、簡素で効率的な運営の下、開催します。

この大会を通して、冬季スポーツの振興を図り、県民の健康増進や青少年の健全育成の意識を高めるとともに、スポーツの力による「元気な信州づくり」を通じて「しあわせ信州」の実現に寄与することを目指します。

(2) 実施目標

ア 冬季スポーツと長野県の魅力を発信する大会

オリンピック等の舞台で繰り上げられる熱戦を通して、冬季スポーツの魅力と、世界水準の山岳高原などを利用し様々な冬季スポーツを楽しむことができる 長野県の魅力を、広く全国に発信する大会を目指します。

イ 県民みんなで「つくる」大会

より多くの県民が一人ひとりに合った方法で主体的に参画できるよう、長野県の東・南・中・北信の 4 つの地域で大会を開催し、県民みんなで「つくる」大会を目指します。

ウ 元気な信州を実感できる大会

スポーツによる地域の一体感や活力の醸成を図り、長野県神城断層地震からの復興を後押しするとともに、全国から訪れる方々に元気な信州を実感していただく大会を目指します。

エ 簡素で効率的な大会

これまでの冬季国体開催の経験を踏まえ、大会運営全体を改めて見直し、簡素で効率的な大会を目指します。



2017

氷雪にかがやけ君の技ちから



第72回国民体育大会冬季大会

ながの銀額国体

スケート競技会・アイスホッケー競技会

平成29年1月27日(金)～31日(火)

会場地／長野市、岡谷市、軽井沢町

スキー競技会

平成29年2月14日(火)～17日(金)

会場地／白馬村